

令和3年11月19日

千葉地方裁判所長 殿

千葉地方裁判所民事首席書記官 後 藤 健 司

所在不明の判決原本等の搜索（途中経過）について

当庁において、判決原本等の所在が不明となっていることが判明し、その経緯等について、令和3年7月8日付け当職作成の「判決原本等の所在不明について」により報告しましたが、その後の判決原本等の搜索の経過等については下記1のとおりであり、今後の方針については、下記2のとおりと考えます。

記

1 搜索の途中経過

(1) 搜索方法

搜索対象書類が誤って綴られている可能性のある原本綴りを、その可能性の高い順に以下のとおり順位を付けて、搜索担当者において各綴りの内容物を1枚ずつ目視することにより、編綴に誤りがないか（当該綴りに編綴すべきでない書類が混入していないか）を確認する。

- ① 昭和63年から平成16年までの本庁の原本綴り（1474冊）
- ② 平成17年から平成24年までの本庁の原本綴り（863冊）
- ③ 昭和58年から昭和62年までの本庁の原本綴り（130冊）
- ④ 市川簡裁の庁舎建替時に一時本庁に保管していた原本綴りのうち、
民事訴訟事件（ハ）に関するものすべて（判決、和解、和決、調停、
17条、訴費）（564冊）

(2) 進捗状況

11月18日現在、上記1の①から③まで終了した。

(3) 搜索担当者

民事首次席書記官（3名）、民事訟廷職員（13名）、民事通常部主任書記官（5名）

(4) 搜索期間等

ア 上記1①

9月16日（木）から11月10日（水）まで（延べ約450時間）

イ 上記1②

10月18日（月）から11月11日（木）まで（延べ約220時間）

ウ 上記1③

11月2日（火）から11月8日まで（延べ約40時間）

(5) 現時点での搜索結果等

搜索した原本等の発見状況は別表1-1及び別表1-2のとおりである。

作業開始時に所在不明とされていた上記別表のNo.1からNo.78の事件書類のうち以下の12通が発見されたが、残りの66通（うち15通は上訴審の判決正本（別表1-2参照））は未だ発見できていない。

- ① No.3… 60(ワ)1033に併合されていた（併合の事実が事件簿に記載されておらず、これまで発見できていなかった。）。
- ② No.4… 61(ワ)1158に併合されていた（併合の事実が事件簿に記載されておらず、これまで発見できていなかった。）。
- ③ No.11… 完結年度誤りの可能性あり（控訴審の結果につき、事件簿には平成4年9月16日控訴取下げ（休止満了）とあるが、判決の原本付記は平成5年9月17日控訴取下げとある。高裁に確認する必要あり。

- ④ No.29… 綴り間違い（控訴審で弁論が分離され、別々に判決がされていたところ、一体として保存していなかった。一審判決の確定付記にも誤りがあった。）。
 - ⑤ No.38… 綴り間違い（3(ワ)864と3(ワ)912の間で発見）。
 - ⑥ No.39… 綴り間違い（3(ワ)1093と3(ワ)1094の間で発見）。
 - ⑦ No.41… 和解調書に事件番号の誤記があり（4(ワ)1724）、この事件番号で整理されていた。
 - ⑧ No.47… 完結年度誤り（他の当事者の完結年度である平成13年の綴りで発見）。
 - ⑨ No.48… 本来綴られるべき場所で発見。
 - ⑩ No.49… 綴り間違い（5(ワ)1942と5(ワ)1943の間で発見）。
 - ⑪ No.61… 判決の写ししか綴られていないと認識していたが、その直前に原本が綴られていた。
 - ⑫ No.77… ④と同じ。
- (6) 搜索において新たに所在不明が判明した判決原本等について
- 搜索の過程で別表2-1及び別表2-2に記載したNo.1からNo.20の事件書類20通の所在が不明であることが新たに判明し、完結年度に誤りはないか、和解・判決の別は間違いないか、関連事件はないかを確認できる範囲で調査した。
- その結果、以下のとおり3通が発見され、別の2通は元々存在しないことが判明したが、残りの15通（うち8通は上訴審の判決正本（別表2-2参照）は未だ発見されていない。
- ① No.80… 他の原本綴りの編冊目録に記載があったが当該判決原本が綴られていなかった。当該判決原本が綴られるべき場所に

綴られていることを確認した。

② No.86… 判決原本に高裁で調停が成立した旨の付記がされていたが、調停調書は綴られていなかった。それは別途調停調書綴りに綴られていることを確認した。

③ No.87… 被告複数の事件。全ての被告について事件が完結した年度の和解調書綴りの編冊目録に記載されていたが綴られていなかった。当該当事者の完結年度（和解成立年度）は別の年であり、当該年度の原本綴りに正しく綴られていることを確認した。

④ No.89… 原本綴りの編冊目録には同事件の和解調書が記載されていたが綴られていなかった。事件簿の記載も被告1名につき原告勝訴、被告1名につき和解成立となっていたが、判決を確認したところ、被告両名につき、原告勝訴だったことが判明した。

⑤ No.90… 原本綴りの編冊目録には同事件には和解調書が2通ある旨記載されているが、1通しか綴られていなかった。もう1通あるべき書類は判決原本であり、それが所定の場所に綴られていることを確認した（なお、事件簿の記載も誤っていた。）。

(7) 上訴審が作成した正本について

前記(5)及び(6)の搜索の結果判明した別表1－2及び別表2－2に記載されている所在不明の事件書類（合計23通）は、上訴審が作成した判決正本等であるが、そのうち上訴審の判決（19件）については、その原本を上訴審が保存していると思われる。

(8) 11月18日現在の所在不明判決等の原本

58通

2 今後の方針

(1) 当初の検索対象である判決原本等について

ア 1で述べたとおり、1の(1)の④の検索作業（市川簡易裁判所に保管中の原本綴りの検索）が未了であるため、今後、速やかに作業を行いたい。

なお、NAV I U Sの不具合を踏まえ、同検索に同簡易裁判所の職員の協力を求めることが困難なことから、本庁から職員を派遣して作業を行う予定である。

イ 上記アの検索終了後、本件原本等検索を終了することとし、別表1－1の所在不明の判決及び和解調書等原本の事件当事者に対し、事情説明及び謝罪を行うと共に、当該事件の判決等再製に向けての協力を依頼する。

ウ イの当事者対応等の前提として、当事者対応案及び報道対応案を策定し、上級庁に求意見を行う。

エ 別表1－2記載の所在不明の上訴審正本については、当該上訴審に対し、正本の再度交付を依頼し、同正本を原本綴りにおいて保管する。

(2) 新たに発見された所在不明原本について

ア 今回の検索において、新たに発見された別表2－1及び別表2－2に記載の所在不明の判決原本等は、1の(1)の①ないし③の検索作業の途中で判明したものであり、複数当事者の事件については分離されて別の完結年度の原本綴りに綴られていたり、先に係属していた事件に併合されて完結している可能性があることから、そのような視点で現在引き続き検索作業を行っているところである。

イ 検索終了後は、上記(1)と同様に当事者対応等及び判決等再製を行う。

ウ 別表2－2記載の所在不明の上訴審正本については、当該上訴審
に対し、正本の再度交付を依頼し、同正本を原本綴りにおいて保管
する。

以 上

【別表1-1】

所在不明原本等検索結果一覧(R3. 11. 16現在) 【当初から所在不明だったもの・原本(当庁判決, 高裁和解調書)のみ】

No.	事 件 番 号	原本綴り	完結年度	記録廃棄	所在不明の書類	検 索 結 果 ・ 参 考 事 項	原告	被告
1	昭和 61 (ワ) 0010 1016	判決	昭和63年	H12.3.17	判決原本(S63. 5. 12言渡し)			個人2名
2	昭和 62 (ワ) 0101	判決	昭和63年	H12.3.17	判決原本	市川簡裁61ロ4309の異議		
3	昭和 62 (ワ) 0993	判決	平成01年	H12.3.17	判決原本	発見 H元ワ判決6(60ワ1033に併合)		
4	昭和 62 (ワ) 1071	判決	昭和63年	H12.3.17	判決原本	発見 S63ワ判決8(61ワ1158に併合)	個人1名	個人1名
5	昭和 63 (ワ) 0272	判決	昭和63年	H12.3.17	判決原本		住宅・都市整備公団	個人1名
6	昭和 63 (ワ) 1136	判決	平成01年	H10.2.5	判決原本		個人1名	
7	昭和 63 (ワ) 1236	判決	平成01年	H13.1.22	判決原本	市川簡裁63ロ2148の異議		個人1名
8	昭和 63 (ワ) 1323	判決	平成01年	H10.2.5	判決原本(控訴は取下げ)		個人1名	宅地建物取引業者 外
9	昭和 63 (ワ) 1325	判決	平成01年	H10.2.5	判決原本		個人1名	風俗営業 外
10	昭和 63 (ワ) 1355	判決 or 和解	平成02年	H13.1.22	高裁和解調書原本(元ネ4321)	発見されたとしても今年度廃棄対象	個人1名	
11	昭和 63 (ワ) 1432	判決	平成04年	H13.1.22	判決原本	発見 H5ワ判決3(完結年度誤り?・高裁に確認必要)	個人1名	
12	昭和 63 (ワ) 1500	判決 or 和解	平成02年	H13.1.22	高裁和解調書原本(元ネ4495)	発見されたとしても今年度廃棄対象		個人1名
13	平成 01 (ワ) 0515	判決	平成03年	H13.1.22	判決原本		個人2名	
14	平成 01 (ワ) 0523	判決	平成01年	H13.1.22	判決原本		千葉市	個人1名
15	平成 01 (ワ) 0587	判決	平成02年?	H13.1.22	判決原本(H元. 9. 26言渡し)			個人2名
16		判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 5. 8言渡し)			個人1名
17	平成 01 (ワ) 1020	判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 11. 27言渡し)			個人1名
18	平成 01 (ワ) 1137	判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 11. 27言渡し)		個人1名	個人1名
19	平成 01 (ワ) 1313	判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 4. 10言渡し)		個人1名	個人1名
20	平成 01 (ワ) 1433	判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 2. 13言渡し)			個人1名
21	平成 02 (ワ) 0263	判決 or 和解	平成03年	H13.1.22	高裁和解調書原本(2ネ2852)	発見されたとしても今年度廃棄対象	個人1名	個人1名
22	平成 02 (ワ) 0504	判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 7. 17言渡し分)			個人5名
23	平成 02 (ワ) 0664	判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 7. 27言渡し)			個人1名
24	平成 02 (ワ) 0926	判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(H3. 3. 26言渡し)			個人1名
25	平成 02 (ワ) 0929	判決	平成02年	H13.1.22	判決原本(H2. 11. 27言渡し)		個人10名	個人2名
26	平成 02 (ワ) 0951	判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(H3. 3. 5言渡し)		個人10名	個人1名
27		判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(H3. 4. 9言渡し)		個人10名	個人4名
28	平成 02 (ワ) 1211	判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(H2. 12. 28言渡し)			個人1名
29	平成 02 (ワ) 1561	判決	平成06年	H14.1.25	判決原本	発見 H5ワ判決9(綴り間違い)	個人2名	個人5名
30	平成 03 (ワ) 0146	判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(H3. 6. 27言渡し)			個人2名
31	平成 03 (ワ) 0256	和解	平成03年	H13.1.22	和解調書原本			個人1名
32	平成 03 (ワ) 0338	和解	平成03年	H13.1.22	和解調書原本		住宅・都市整備公団	個人1名
33	平成 03 (ワ) 0532	判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(H3. 7. 19言渡し)		住宅・都市整備公団	個人1名
34		判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(H3. 9. 9言渡し)			個人1名
35	平成 03 (ワ) 0646	判決 or 和解	平成05年	H13.1.22	高裁和解調書原本(5ネ1911)			個人2名
36	平成 03 (ワ) 0699	和解	平成04年	H13.1.22	認諾調書原本(H4. 2. 5)		個人1名	
37	平成 03 (ワ) 0833	和解	平成04年	H13.1.22	和解調書原本(H4. 1. 27)		個人1名	個人1名
38	平成 03 (ワ) 1326	判決	平成05年	H13.1.22	高裁和解調書(4ネ4680)	発見 H5ワ判決11(綴り間違い)	個人1名	個人1名
39	平成 03 (ワ) 1385	和解	平成03年	H14.1.25	和解調書原本	発見 H4和解8(綴り間違い)	個人1名	個人2名
40	平成 03 (ワ) 1670	和解	平成04年	H14.1.25	和解調書原本		個人1名	個人1名
41	平成 03 (ワ) 1724	和解	平成04年	H14.1.25	和解調書原本	発見 H4ワ和解29(平成4年(ワ)1724として和解調書が作成されていた)	個人1名	個人1名
								個人2名

【別表1-1】

所在不明原本等検索結果一覧(R3. 11. 16現在)【当初から所在不明だったもの・原本(当庁判決, 高裁和解調書)のみ】

No.	事 件 番 号	原本綴り	完結年度	記録廃棄	所在不明の書類	検 索 結 果 ・ 参 考 事 項	原告	被告
42	平成 04 (ワ) 2111	判決	平成05年	H13.1.22	判決原本			
43		判決 or 決定	平成05年	H13.1.22	訴訟費用額確定決定原本(7モ1226)		個人2名	個人1名
44	平成 05 (ワ) 0637	和解	平成05年	H13.1.22	和解調書原本		個人1名	個人1名
45	平成 05 (ワ) 0658	判決	平成07年	H13.1.22	判決原本(H6. 11. 7言渡し)			個人1名
46	平成 05 (ワ) 1120	和解	平成06年	H13.1.22	和解調書原本			個人1名
47	平成 05 (ワ) 1557	判決 or 和解	平成06年	H19.2.19	高裁和解調書原本(10ネ2702・H11. 10. 27)	発見	H13ワ判決3(他の当事者の完結年度の綴りで発見)	個人1名
48	平成 05 (ワ) 1858	和解	平成06年	H13.1.22	和解調書原本(H5. 11. 22成立)	発見	H6ワ和解11(綴られるべき原本綴りで発見)	個人2名
49	平成 05 (ワ) 1994	和解	平成06年	H13.1.22	和解調書原本	発見	H6ワ和解11(綴り間違い)	個人1名
50	平成 06 (ワ) 1766	判決	平成07年	H13.1.22	判決原本		千葉簡裁6ロ5069の異議	個人1名
51	平成 06 (ワ) 1929	判決	平成07年	H13.1.22	判決原本			個人2名
52	平成 06 (ワ) 2054	判決	平成07年	H13.1.22	判決原本		個人1名	個人1名
53	平成 06 (ワ) 2184	和解	平成07年	H13.1.22	和解調書原本		住宅・都市整備公団	個人1名
54	平成 06 (ワ) 2192	和解	平成07年	H13.1.22	和解調書原本		市川簡裁6ロ4770の異議	個人1名
55	平成 06 (ワ) 2340	和解	平成07年	H13.1.22	和解調書原本		個人6名	
56	平成 06 (ワ) 2444	和解	平成07年	H13.1.22	和解調書原本		千葉簡裁6ロ6666の異議	個人1名
57	平成 07 (ワ) 1468	判決	平成08年	H14.1.25	判決原本		住宅・都市整備公団	個人1名
58	平成 07 (ワ) 1879	判決 or 決定	平成10年	H16.2.3	高裁和解調書原本(10ネ2359)		個人1名	個人1名
59	平成 07 (ワ) 2027	和解	平成07年	H14.1.25	和解調書原本		千葉簡裁7ロ4703の異議	
60	平成 08 (ワ) 2357	和解	平成09年	H15.2.4	和解調書原本			個人1名
61	平成 09 (ワ) 2262	判決	平成10年	H16.2.3	判決原本(写しが綴ってある)	発見	H10ワ判決28(あるべき原本綴りで判決写しの直前にあるのを発見)	個人1名
62	平成 09 (手ワ) 0040	判決	平成11年	H17.2.18	手形判決原本(異議後事件番号:H9(ワ)1919)			個人1名

【別表1-2】

所在不明原本等検索結果一覧(R3. 11. 16現在)【当初から所在不明だったもの・上級審作成正本のみ】

No.	事 件 番 号	原本綴り	完結年度	記録廃棄	所在不明の書類	検 索 結 果 ・ 参 考 事 項	原告	被告
63	昭和 83 (ワ) 0442	判決	平成02年	H13.1.22	高裁判決正本(元ネ4398)		個人1名	住宅金融公庫, 個人1名
64	昭和 83 (ワ) 1136	判決	平成01年	H10.2.5	高裁判決正本(63ネ4009)		個人1名	■■■■■
65					上告却下決定正本(事件番号不明)		個人1名	■■■■■
66	昭和 83 (ワ) 1325	判決	平成01年	H10.2.5	高裁判決正本(63ネ4020)		個人1名	風俗営業 外
67					上告却下決定正本(事件番号不明)		個人1名	■■■■■
68	昭和 83 (ワ) 1571	判決	平成06年	H13.1.22	高裁判決正本(5ネ4952, 5154)		個人1名	■■■■■
69	平成 01 (ワ) 0081	判決	平成03年	H13.1.22	上告却下決定正本(3ネ才153)		個人1名	個人1名
70	平成 01 (ワ) 0515	判決	平成03年	H13.1.22	高裁判決正本(3ネ1540)		個人2名	■■■■■
71	平成 01 (ワ) 0862	判決	平成03年	H13.1.22	高裁判決正本(事件番号不明)		個人1名	個人1名
72	平成 01 (ワ) 0999	判決	平成02年	H13.1.22	高裁判決正本(2ネ1197)		個人1名	個人1名
73	平成 01 (ワ) 1433	判決	平成02年	H13.1.22	高裁判決正本(2ネ1066)		■■■■■	■■■■■, 個人1名
74	平成 02 03 (ワ) 0103 0066	判決	平成03年	H13.1.22	高裁判決正本(3ネ230)		■■■■■	個人1名
75	平成 02 (ワ) 0680	判決	平成03年	H13.1.22	高裁判決正本(事件番号不明)		個人1名	個人1名
76					上告却下決定正本(事件番号不明)		個人1名	個人1名
77	平成 02 (ワ) 1561	判決			高裁判決正本(4ネ3960・H5. 11. 25宮渡し)	発見 H5ワ判決9(綴り間違い)	個人2名	個人2名
78	平成 04 07 (ワ) 1516 1001	判決	平成09年	H15.2.4	高裁判決正本(9ネ236, 238, 243)		個人2名	個人1名

【別表2-1】

所在不明原本等検索結果一覧(R3. 11. 16現在)【当初不明分の検索過程で新たに所在不明が判明したもの・原本(当庁判決、高裁和解調書)のみ】

No.	事 件 番 号	原本綴り	完結年度	記録廃棄	所在不明の書類	検 査 結 果 ・ 参 考 事 項	原告	被告
79	昭和 58 (手ワ) 0004 0019	判決	昭和62年	不明	手形判決原本	事件簿によると高裁でS62. 6. 25訴訟終了宣言判決(S61. 8. 8和解成立)。	個人3名	個人2名
80	昭和 62 (ワ) 0187	判決	昭和62年	H10.11.12	判決原本	発見 S62ワ判決15(別の原本綴りの編冊目録に記載あるものの現物なし。綴られるべき原本綴りにあることを確認した。)		
81	昭和 62 (ワ) 0682	判決	昭和63年	H13.1.22	判決原本		個人8名	個人11名
82	昭和 62 (ワ) 1716	判決	平成03年	H12.3.17	判決原本(被告分・高裁和解調書しかない)	弁論分離により複数の判決が存在するはずだが、事件簿には当事者ごとの終局結果が書かれていない。		個人4名
83	昭和 62 (ワ) 1727 平成 元 0954	判決	平成03年	H13.1.22	判決原本(被告分・高裁判決正本しかない)		個人1名	個人2名
84	昭和 63 (ワ) 0022	判決	平成01年	H13.1.22	判決原本(高裁判決正本、高裁上告却下決定正本しかない)	他の係への配てん替えあり(他事件に併合の可能性あり)	個人1名	
85	(ワ) 0037 昭和 63 (ワ) 0573 (手ワ) 0056	判決 or 和解	平成04年	H13.1.22 H13.1.22 H14.1.25	高裁和解調書原本(3ネ3197, 3203)		個人1名	個人2名
86	昭和 63 (ワ) 1612	判決	平成02年	不明	高裁の調停調書原本(2セ2)	発見 H2～4セ調停(調停調書を別途保存)		
87	平成 04 (ワ) 1886	和解	平成05年	H13.1.22	和解調書原本	発見 H4ワ和解30(相被告の完結年度の和解調書綴りの編冊目録に記載はあるものの現物はなかったところ、本和解の当事者については平成4年完結であり、綴られるべき原本綴りにあることを確認した)		
88	平成 06 (ワ) 0890	和解	平成07年	H13.1.22	和解調書原本			個人1名
89	平成 10 (ワ) 0904	和解	平成10年	H16.2.3	和解調書原本(被告分)	不存在でOK H10ワ判決40(和解調書綴りの編冊目録に記載はあるものの現物はなかったところ、和解調書は存在しないことを確認した(事件簿にも、被告2名のうち一方は和解、他方は判決で終局した旨の記載がされていたが、被告両名につき判決で終局していた。))		
90	平成 10 (ワ) 1569	和解	平成10年	H16.2.3	和解調書原本(被告分・H10. 9. 29)	不存在でOK H10ワ判決46(和解調書綴りの編冊目録に記載はあるものの現物はなかったところ、終局結果が判決であることを確認した(事件簿の記載も誤っていた。))		

【別表2-2】

所在不明原本等検索結果一覧(R3. 11. 16現在)【当初不明分の検索過程で新たに所在不明が判明したもの・上級審作成正本のみ】

No.	事 件 番 号	原本綴り	完結年度	記録廃棄	所在不明の書類	捜 索 結 果 ・ 参 考 事 項	原告	被告
91	昭和 59 (ワ) 0379	判決	昭和61年	H10.2.5	高裁判決正本(被告分・60ネ3101)	事件簿では全当事者につき高裁で和解成立となっているが、判決の原本付記によれば、判決で終局した当事者もあったようである(他の被告については高裁和解調書原本あり。)	住宅・都市整備公団	個人1名
92	昭和 82 (ワ) 0639	判決	平成01年	H13.1.22	高裁判決正本(元ネ457)			
93	昭和 82 (ワ) 1613	判決	平成01年	H13.1.22	高裁判決正本(事件番号不明)	千葉簡裁62口5868の異議		
94	昭和 83 (ワ) 0223	判決	平成01年	H13.1.22	高裁判決正本(事件番号不明)			個人1名
95	昭和 83 (ワ) 0324	判決	平成01年	H13.1.22	高裁判決正本(元ネ1155, 2457)		個人1名	個人1名
96	昭和 83 (ワ) 0609	判決	平成01年	H13.1.22	高裁判決正本(元ネ2944)		個人1名	個人1名
97	昭和 83 (ワ) 1511	判決	平成02年	H13.1.22	高裁判決正本(元ネ3351)		個人1名	個人1名
98	平成 05 (ワ) 1232	判決	平成06年	H13.1.22	最高裁判決正本(6才1802・正本の写しが綴られている)			個人1名